

私の美術鑑賞ノート

絵葉書を貼る

美術館:

展覧会: 没後 120 年ゴッホ展

- こうして私はゴッホになった -

日 付: 年 月 日

名 前:

ゴッホについて

本名	
誕生日	年 月 日
死亡日	年 月 日 (歳)
生まれた国	
家族について	お父さんとおじいさんの仕事は何ですか？ 親戚はどのような仕事をしていましたか？ 兄弟はいましたか？ 兄弟と仲良しでしたか？
性格や考え	どんな人でしたか？ 友達はたくさんいましたか？ あなたはゴッホと友達になりたい？ ゴッホは貧しい人にどう接していましたか？ 画家になったゴッホはどんな夢を持っていましたか？
仕事	画家になるまではどんな仕事をしていましたか？ なぜ仕事をやめたのですか？
画家として	何歳で画家になりましたか？ 何年ぐらい画家をやっていましたか？ 生きている間に何枚ぐらい絵をかきましたか？ 生きている間に売れた絵は何枚ですか？ ゴッホの生活は誰がささえていましたか？
メモ	

没後 120 年 ゴッホ展

－ こうして私はゴッホになった －

第一章: 伝統 -ファン・ゴッホに対する最初期の影響

ゴッホは、16 歳のとき、おじさんのお店で絵を売る仕事を始めたので有名な画家たちの絵をよく知っていました。絵を描き始めたころはその人たちの絵をまねました。

1 番の絵をみてください。3 番以降の絵とどこがにていますか？

描いているもの	
色の感じ	
筆の感じ	
描いている場所	

第二章: 若き芸術家の誕生

画家になろうと決めたゴッホはいとこに画家がいたので、その人から絵を習いました。自分でも有名な画家の版画やデッサンを真似して上手に絵を描く練習をしました。力強い絵を描けるよう、雑誌や本、さまざまな道具などを集めて上手にかけるよう工夫をしました。

ゴッホは絵が上達するためにどのような工夫や努力をしましたか？

第三章: 色彩理論と人体の研究、ニューネン

30 歳になったゴッホは両親が住むオランダのニューネンに引っ越しました。デッサンは上達したので、今度は油絵に興味を持つようになりました。画家ドラクロワの色づかいを学び、ドラクロワのまねをして人を描く練習をしました。

ゴッホはこの頃に描いた《じゃがいもを食べる人々》が一番上手に書けたと弟のテオに手紙を送りました。ゴッホは貧しい農民たちが、自分たちの手で畑をたがやしてじゃがいもをつくり、それを収穫して食べる、まじめで慎ましやかな暮らしの様子を描きたかったのです。

《じゃがいもを食べる人々》の絵から画家が描こうとしていたどんなことが伝わってきますか。

例) ゴツゴツした手	農民がいっしょうけんめい働いている様子がわかる

第四章: パリのモダニズム

1886 年 33 歳になったゴッホは弟テオのいるパリに移り、弟と一緒に暮らしました。絵を売る仕事をしていたテオは、ゴッホにパリであたらしいことをやっている芸術家たちをしょうかいしました。

パリでゴッホはだれと友達になりましたか。

--

ゴッホは友達のまねをしてあたらしい絵の描き方をためてみました。どんなことをしましたか？

	新しいかきかた(印象派)	それまでのかきかた
色の使い方		
絵の具の使い方		
描き方		

第五章: 真のモダンアーティストの誕生、アルル

1888 年 35 歳になったゴッホはフランスの南のほうにあるアルルという街に移ります。日本好きのゴッホは日差しの明るいアルルは「日本にきたような気がする」と言っていました。

アルルでゴッホはついに人のまねではない自分独自のスタイルにたどりつきました。誰の絵にも似ていないゴッホだけの絵です。誰が見てもゴッホとわかる絵です。ゴッホはアルルで 190 点もの絵を描きました。

ゴッホの絵の特徴はどんなところですか？

ゴッホの絵の特徴	一般的なかきかた

当時パリでは日本の浮世絵がはやっていました。ゴッホは浮世絵をみて日本が大好きになりました。ゴッホは浮世絵の真似もしました。

日本の浮世絵を見て、西洋絵画と異なるのはどこですか。

ゴッホはアルルで画家仲間と一緒に暮らしたいと思っていたのですが、来たのはゴーギャンだけでした。ゴッホはゴーギャンが来るのをとても楽しみにしていましたが二人は大ゲンカをしてしまいます。このショックからゴッホは重い心の病気になってしまいました。

第六章: さらなる探求と様式の展開 サン=レミとオーヴェール=シュル=オワーズ

ゴッホと大ゲンカをしたゴッホはアルルの近くサン=レミにある精神病院に入院し、元気なときは絵を描きました。その後、テオのすすめでガッシュ博士というお医者さんにみてもらうためにパリの近くのオーヴェール=シュル=オワーズへ引っ越します。引っ越しをしてから自殺をするまでの70日間のあいだに70枚以上も絵を描きました。

自分の描き方を確立したゴッホは、自分が発見した新しい描き方でどんどんいろいろなものを描いてみました。あなたはどの絵が好きですか。よくみてみましょう。

作品名	
好きなところ	
鑑賞メモ ヒント 作者が伝えたいこと 作者に聞きたいこと 色使い、筆遣い どんな気持ちになる? 驚いたこと、発見....etc.	

ゴッホは結婚して子供が生まれた弟のテオの家庭に迷惑をかけたことを苦にして自殺したのではないかとされています。ゴッホの死後まもなくして、弟のテオも亡くなりました。生前1枚も売れなかったゴッホの絵は、テオの妻ヨハンナと、息子フィンセント(ゴッホと同じ名前をつけました)のおかげでゴッホの絵は売れるようになりました。今では世界中の有名な美術館に所蔵され、多くの人がゴッホの絵を見に来ます。

ゴッホ関連絵本

- ・ ゴッホとゴーギャン (おはなし名画シリーズ)
- ・ ゴッホ 太陽を愛した「ひまわり」の画家 (小学館版学習まんが人物館)
- ・ もっと知りたいゴッホー生涯と作品 (アート・ビギナーズ・コレクション) [指導者用]

美術館での3つのおやくそく

歩く・見るだけ・ひそひそ話す

～ 環優舎 ～